

RAINBOW通信

第13号

発行日: 2011/4/23
 発行者: 桐蔭横浜大学ハンドボール部
 問合せ先: 岡本大研究室045-974-5766
 URL: <http://www.cc.toin.ac.jp/sc/handball/>

New Beginning

春季リーグ 日程 決定!!!

震災の影響で開幕が延期されていましたが、日程が決まりました。

男子2部 日程表

女子1部 日程表

月日	会場	第一試合	第二試合	第三試合	第四試合	第五試合
4月30日 (土)	日体大健志台	10. 20- 関学大 東京大	11. 40- 青学大 慶応大	13. 00- 明星大 大東大	14. 20- 立教大 茨城大	15. 40- 順天堂 桐蔭大
5月3日 (休)	日体大健志台	10. 20- 立教大 桐蔭大	11. 40- 青学大 東京大	13. 00- 順天堂 茨城大	14. 20- 明星大 関学大	15. 40- 慶応大 大東大
5月4日 (休)	日体大健志台	10. 20- 青学大 関学大	11. 40- 立教大 慶応大	13. 00- 大東大 茨城大	14. 20- 順天堂 東京大	15. 40- 明星大 桐蔭大
5月5日 (休)	日体大健志台	10. 20- 順天堂 大東大	11. 40- 青学大 桐蔭大	13. 00- 立教大 関学大	14. 20- 明星大 慶応大	15. 40- 東京大 茨城大
5月8日 (日)	日体大健志台	10. 20- 青学大 大東大	11. 40- 明星大 茨城大	13. 00- 順天堂 慶応大	14. 20- 立教大 東京大	15. 40- 関学大 桐蔭大
5月15日 (日)	日体大健志台	10. 20- 明星大 東京大	11. 40- 順天堂 関学大	13. 00- 立教大 大東大	14. 20- 慶応大 桐蔭大	15. 40- 青学大 茨城大
5月21日 (土)	日体大健志台	10. 20- 慶応大 東京大	11. 40- 大東大 桐蔭大	13. 00- 関学大 茨城大	14. 20- 立教大 明星大	15. 40- 順天堂 青学大
5月22日 (日)	日体大健志台	10. 20- 関学大 大東大	11. 40- 慶応大 茨城大	13. 00- 順天堂 明星大	14. 20- 東京大 桐蔭大	15. 40- 立教大 青学大
5月28日 (土)	日体大健志台	10. 20- 茨城大 桐蔭大	11. 40- 大東大 東京大	13. 00- 関学大 慶応大	14. 20- 明星大 青学大	15. 40- 順天堂 立教大

月日	会場	第一試合	第二試合	第三試合	第四試合
4月30日 (土)	日女体大	11. 00- 筑波大 桐蔭大	12. 20- 日体大 早稲田	13. 40- 東海大 日女体	15. 00- 東女体 国士館
5月1日 (日)	日女体大	11. 00- 東女体 日女体	12. 20- 東海大 国士館	13. 40- 筑波大 早稲田	15. 00- 日体大 桐蔭大
5月7日 (土)	東女体大	11. 00- 日体大 国士館	12. 20- 筑波大 日女体	13. 40- 東海大 桐蔭大	15. 00- 東女体 早稲田
5月8日 (日)	東女体大	11. 00- 東海大 早稲田	12. 20- 東女体 桐蔭大	13. 40- 筑波大 国士館	15. 00- 日体大 日女体
5月14日 (土)	東女体大	13. 00- 国士館 桐蔭大	14. 20- 日女体 早稲田	15. 40- 筑波大 東女体	17. 00- 日体大 東海大
5月15日 (日)	東女体大	11. 00- 日女体 桐蔭大	12. 20- 国士館 早稲田	13. 40- 日体大 東女体	15. 00- 筑波大 東海大
5月22日 (日)	国士館大 多摩	11. 00- 早稲田 桐蔭大	12. 20- 国士館 日女体	13. 40- 東海大 東女体	15. 00- 筑波大 日体大

※ 入替戦は6月4日(土)5日(日)に、日体大健志台体育館で開催

ハンドボールができるということ・・・

3月11日、それは突然に起きました。今回の東日本大震災により実際に家族が被害にあった部員もあり、また震災の影響で部も活動できない期間もあって、ここ1ヵ月間は大変な時期が続きました。

今、日本はこの悲しみを乗り越えて復興に向けて全国規模で活動しています。そんな中、私達は当たり前のようにハンドボールをしているということは、どういうことなんだろうかと葛藤をしながら日々練習を続けています。

「私達に出来ることはなんなのだろうか？」そんなことも考えました。

私達の個々で何か行った場合ほんの少しの力にしかありませんが、チーム全体で行ったとすればそれは大きな力になるはずで、些細なことですが、わたしたちでもみんな協力して何かアクションを起こしていきたいと思っています。

人と人の助け合い、協力し合うこと、それはハンドボールをするにあたって同じことです。

この大震災を通じて色々なことを考えました。今の私達に出来ること、節電・節水・募金、そして今できることを思いっきりやって生きていく。

それが私達の出した答えです。

賛否両論あるとは思いますが、

私達は今ハンドボールが出来ていることに感謝して
全力でハンドボールに取り組んでいきたいと思っています。

NO RAIN NO RAINBOW

迎える1部の舞台では 私たちはチャレンジャーとして

NOTHING TO LOSE = 失うものは何もない

をモットーに、新入生を含めみんなで切磋琢磨して試合に臨んでいきたいと思っています。

最後に東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

2年 奥平 香穂

2011年3月11日に起きた東北関東大震災で、日本は過去に例をみないような被害を受けました。

この震災で福島にある実家が少なからず被害を受けました。テレビを見ると映画のような映像を目の当たりにして、神奈川に住んでる自分なんて停電などのちっぽけな被害だと思いました。今、社会ではスポーツで元気や勇気を与えるとありますが、実際被災地にはライフラインが断たれてる状況で、テレビでスポーツを見ることや、ましてや、被災を受けてない方まで来て観戦できるわけでもなく・・・。

それを考えると今の自分はなんの苦もなく暮らせていて、それが改めて幸せと感じました。

こういった事が起きないと普段の幸せを幸せと感じることができない自分がいました。

今後被災を受けた人たちに対して自分ができることは、

小さな事にも幸せを一生懸命感じ、一生懸命生き、そしてハンドボールを一生懸命頑張る事だと思っています！

今回の大震災にも負けない日本で生きていることを誇りに持ち、

これからも自分に出来ることを探し見つけながら頑張っていこうと思います。

2年 佐川 央樹(福島県出身)

春季リーグの闘いに向けて・・・

私達、桐蔭ハンドボール部はいよいよ一部の挑戦権と東インカレの切符を懸け春季リーグに臨みます。リーグ一か月前に突然の東日本大震災の影響で開幕が延期になったり、一時練習ができない日々がありました。ですが、リーグの日程も決まり練習ができる環境も整い、チームも二部突破に向けて気持ちのこもった練習を行っています。

今回のリーグ戦は今までと違い、より一部に近い強豪大学が相手になります。そのため、全ての試合で僅差の厳しい試合が想定されます。しかし私達は、今までやってきた辛い練習を盾にチーム一丸となって全力で戦います。春季リーグの最終戦には一部、東インカレに繋がる綺麗なレインボーが大空に架かっているのを楽しみにしててください。

応援、よろしくお願いします。

2年 前島 康宏



国際武道大 合宿 & 国士舘大 強化試合

国際武道大学の協力を得て毎年、恒例となりつつある冬のイベントの一つ、国際武道大学での3泊4日冬キャンプ。今年は2部でのステージでリーグ戦を迎えるに当たり、格上との厳しい戦いが待っています。その中で我ら桐蔭横浜大学は今季も全勝を目標に戦っていくために、合宿をしてきました。

その目標を達成するには今まで以上に厳しい練習を行っていかなくてはなりません。

合宿では主に速攻を中心とした練習を行いました。練習中では1部のプレーを体感しつつ、その雰囲気を手につかむように、また相手に負けないように必死になるチームとして出来あがって行きました。

国際武道大との試合では勝てる試合もいくつか増え、自信へとつながりました。ただ、ミスが多いのがチームの弱点です。単純なミス、弱気なプレーを繰り返すことが負けることへとつながります。そのミスをいかに減らし、自分達の「走り勝つハンドボール」ができるかが今後の課題となります。

また、国士舘大での強化試合ではインカレを優勝した国士舘相手に競ることができ、1部相手に強気なプレーなどを仕掛けることも多くなり、自分達らしさを出せるようになりました。

今、日本は震災の状況で大きく変化しています。当たり前のことができなくなったり、日常生活が過ごせなくなったりなどの問題に直面しています。その中で今、自分達ができることはなにか？

その答えは一つしかありません。

「ハンドボールを全力でやること！」

この言葉を胸に刻み、一步一步進んでいきたいと思えます！

4年 高橋 深



春リーグへ向けて

この度の震災の関係で日程がずれましたが、4月30日より いよいよ春季リーグが開幕します。昨年度の入替戦から早くも半年が経ち、ついに一部の舞台で闘う時がきました。今季のリーグ戦は今までとは状況が異なり一瞬一瞬に勝敗がかかっているといっても過言ではありません。

緊迫した状況でも桐蔭らしいプレーをすること、そこにしか活路を見出すことはできないと思われま。そのために私たちは冬季から一部レベルを意識したフィジカルトレーニングを行ってきたつもりです。新戦力となり・桐蔭の伝統を受け継ぐこととなる新たな仲間（新入生）も加わり、ここからが本当のはじまりになります。昨年度までは2部チャンピオンという立場でしたが、今回は下からのし上がってきた、チャレンジャーとしてコートで闘うことになります。

“NOTHING TO LOSE”

挑戦者である私たちに、失うものはありません。

3年 日下石 萌果



肉体強化期間！！

冬の強化期間を終え、いよいよ最後の追い込みの時期に東日本大震災が起きました。震災のこともあり北國合宿には参加できず、練習できない期間が2週間もありました。

各自での個人トレーニングなど、チームで集まって練習することはできなかったけれど、一人一人のハンドボールに対する意識がこの地震によってより高まり、練習再開の日には、今自分たちがハンドボールをできている意味を考え、またチームが一丸となって練習をスタートすることができました。

今の自分達がこうして体育館でハンドボールを練習できていること、することの意味を考える大切な時間となった今、春季リーグに向けて私達は立ち止まることなく、そして一部のステージでまた虹をかけるように頑張っていきます！！

2年 鈴木 亜理紗



ハンドボールをすること

創部以来ずっと憧れていた男子2部・女子1部の舞台。昨秋昇格を決め、その素晴らしい舞台で輝くため、昨年11月から今年2月の冬の間、ロードワーク・ウェイトトレーニング・サーキットトレーニングなどのフィジカル強化のため、シュート・パス・フェイントの個人ベシックススキルの確立のため、長きにわたり厳しい地道なトレーニングを積んできました。そして3月、春季リーグに向けてのチーム作りもいよいよ最終段階となり、日本リーグチームとの合宿や他大学との強化試合を迎えるところでした。

3月11日・・・

ハンドボールがあたりまえにできる日常。その意味をまだ整理できていない状態です。開催自体が危ぶまれていた春季リーグもなんとか延期開催となり、待ち焦がれていた男子2部、女子1部の舞台に立てる喜びと、本当に戦いに向かうのかという想いと。

勝ったから良いとか、負けたから駄目とか、そういうことではなく、懸命にボールを追う姿を表現したいと思います。

監督 岡本 大